

お客様紹介

# ニデック株式会社 中央開発技術研究所 様

(ISO 9001:2015認証登録)

〔取材者〕 審査員 美濃 英雄  
Hideo Mino

ニデック株式会社 中央開発技術研究所様は、2003年に設立された同社の研究開発拠点の一つです。ニデック様は1973年7月の創業以来、日本を代表する世界的な企業になるという目標を掲げられ、「日本電産株式会社」の社名を使用されていましたが、創立50周年にあたる2023年4月、「ニデック株式会社」に社名変更されました。同社は、創業当初から精密小型モータの開発に注力され、この分野での技術革新は、同社の基盤を築く重要な要素となったとのことで、現在、祖業である精密小型モータ事業をはじめ、車載用モータや家電、商業、産業用モータなど、多岐にわたる事業をグローバルに展開されています。また、グループ会社についても、原則としてグループ統一の「ニデック」を冠したものに变更され、一体経営を推進されています。

中央開発技術研究所様では、HDD用、家電用、ドローン機器用など、顧客のニーズに応じた多様なモータを設計・開発され、常に顧客の期待に応える製品の提供を心がけておられます。特にHDD用モータの製造では世界No.1の技術力を有し、その製造で培った超精密加工、精密測定、清浄度等の技術力が、新製品開発に活かされています。また、同社は現代社会に



HDD用モータ



電動バイク用モータ 水冷モジュール

存在する多くの課題にも真剣に向き合わせ、「より良い生活の追及」「サステナブル・インフラとエネルギーの追及」「AI社会を変える」「産業の生産効率化」「モビリティ



中央開発技術研究所（京都市向日市）

イノベーション」という5つの大きなトレンドを見出し、それぞれに対応した製品を通じて社会の課題解決に取り組まれています。最近では、生成AI用データセンターで発生する膨大な熱に対応するために、需要が急速に拡大している水冷モジュールの設計と開発も、同研究所の重要な取り組みの一環として進められているとのことでした。

同研究所は、2003年12月にISO 9001を認証取得されました。他、IATF 16949やJIS Q 9100、ISO 14001も認証取得されています。

2024年の審査からは台湾の拠点も対象サイトとなり、審査チームには2名の外国人審査員が加わりました。海外拠点をISO 9001の認証範囲に含めることで、海外市場でも高品質なモノづくりを提供し、顧客ニーズへの細やかで迅速な対応を実現されています。各部門での品質目標の設定では、組織のリスク及び機会と連動する手法が取られており、また、半期ごとに社員全員が個人目標などを設定する仕組みにより社内全体でのISO運用の取組みと認識が進められていることなど、審査では、同社の様々な仕組みや取組みが強みとして評価されています。

同社が手がけられている製品は、私たちの生活を支える、身の回りのあらゆるところに使われており、製品を通じて「世界を動かす。未来を変える」ためにもっとできることはないかの精神で日々努力をされているとのこと。グループ全社の総力を結集し、「顧客至上に徹し、お客様の満足する製品、サービスを提供する」「品質第一主義で、全世界に通用する製品づくりに全力をあげる」との品質方針の下、これからの100年も社会から必要とされる企業であり続けるために邁進されているニデック様のさらなる飛躍に期待です。